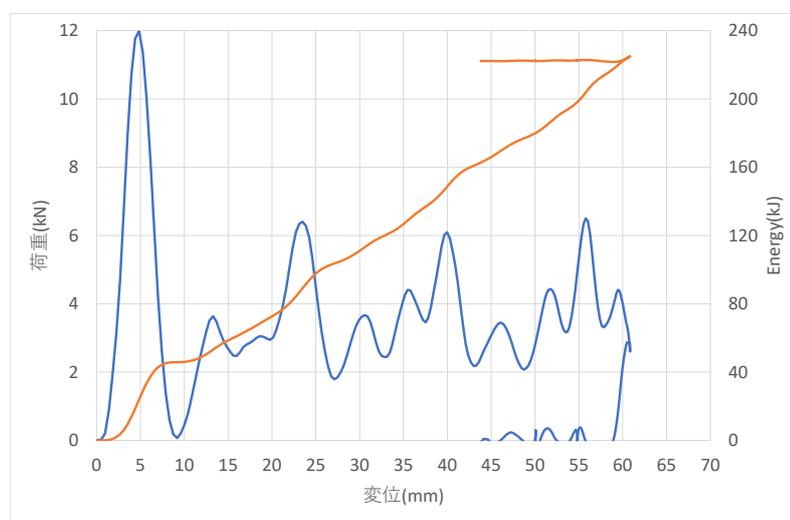
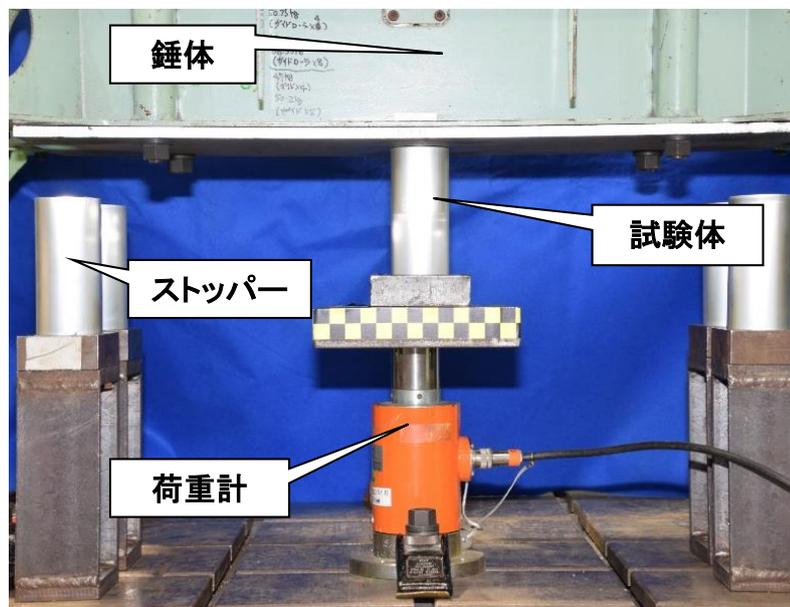
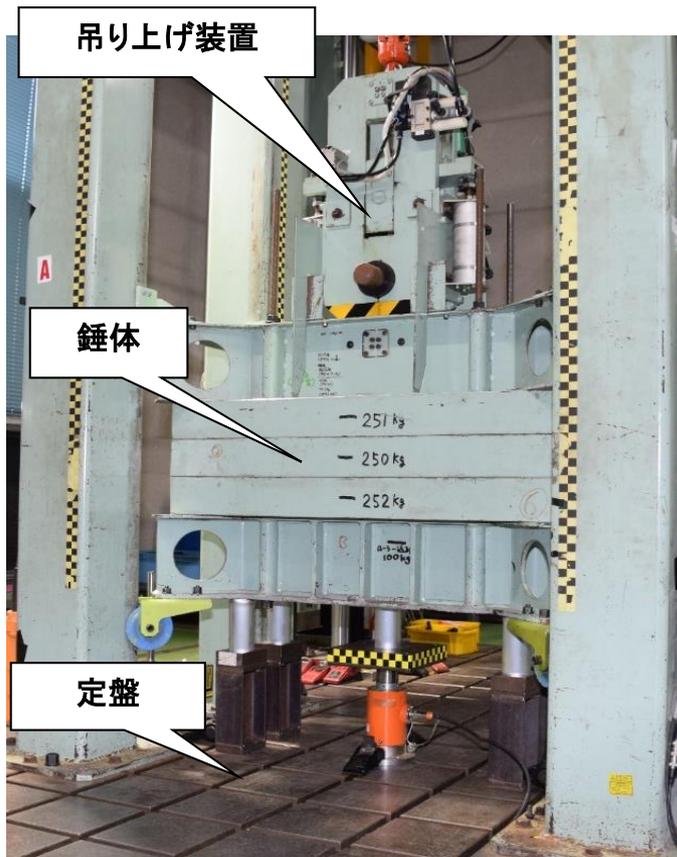




重さ65kg ~ 2,000kgの錘体を最大7,000mmの高さから垂直に落下させ、定盤上に設置した試験体に動的な圧縮負荷を与える試験です。錘体負荷面に各種アタッチメントを取り付けることにより、斜め負荷や局所負荷などの様々な負荷条件（要相談）を設定することが可能です。また、錘体ストッパーにより試験体の潰れ量を調整できます。

定盤上に設置した荷重計による試験体のエネルギー吸収特性の取得や高速度ビデオによる変形モードの解析など、シミュレーション解析用モデルに不可欠な基礎データの効率的な取得に有用な試験です。

錘体の外観と試験体の設置例



主要諸元

試験機の主要諸元

- ◆ 有効落下高さ : 7,000mm
- ◆ 錘体質量 : 65kg ~ 2,000kg
- ◆ 錘体負荷面 : 850mm × 400mm
(有効面積:450mm × 300mm)
- ◆ 試験機設置面 : 溝付き定盤 2,000mm×4,000mm, 溝間隔200mm

主要計測項目

- ◆ 荷重計測 : 圧縮型ロードセル, 定格容量 300kN,1000kN
- ◆ 変位計測 : 高速・高精度CCDレーザ変位計
(測定範囲 : 発光面より250mm~1000mm)
- ◆ 光学計測 : デジタルハイスピードビデオ(1000~4000fps)